

## 企業ヒアリングまとめ

## 1. 調査概要

(1)調査実施日程：8/20（金）～9/7（火） 各社概ね1時間程度

(2)調査対象企業：市内に立地する製造業企業・事業所 10 社

※従業員数（正社員数）：～300名3社、300～500名4社、1,000名～3社

(3)ヒアリング項目：

- ・企業立地にあたって犬山市の立地特性（強みと弱み）について
- ・犬山市の産業構造特性（取引・ネットワーク状況等）について
- ・企業側からみたまちづくりニーズ（生活実態、問題点等）について
- ・市内操業継続のための企業ニーズ（問題点等）について
- ・人材採用における問題課題
- ・その他

## 2. 調査結果（総括）

**●企業立地にあたって犬山市の立地特性（強みと弱み）について**

- ・小牧 IC や国道 41 号との近接性をメリットにあげる企業が多い。一方、住宅地等との相隣環境に問題が生じているなどをデメリットにあげる企業もみられる。
- ・一部企業からは、デメリットとして社員が飲食したり、生活を楽しむ場所が市内に少ないといった指摘も聞かれた。

**●犬山市の産業構造特性（取引・ネットワーク状況等）について**

- ・主な原材料や部品等は、企業が求める品質等を満たす商品を市内で調達できないことから、市外・県外企業から仕入れている企業が大半を占める。
- ・地域とのつながりの面で、副材や事務用品などは意識的に地元業者から仕入れている企業も一部みられるが、総じて市内企業とのつながりは弱く、取引は少ない傾向にある。

**●企業側からみたまちづくりニーズ（従業員の生活実態、問題点等）について**

- ・企業としては、従業員にはできるだけ事業所の近くに住ませたいと考えているが、市内に居住する従業員よりも市外（小牧市、扶桑町、大口町、可児市、各務原市等）に居住する従業員の方が多く企業が大半を占める。
- ・戸建住宅購入にあたって、犬山市内には物件が少ない。また、地価等が安い岐阜県へ流れる社員も相当数いる。
- ・若手社員の住む賃貸住宅が企業周辺や市内には少ないといった意見も多くあった。
- ・通勤手段は車通勤の従業員が主となっている企業が圧倒的に多い。
- ・従業員の昼食は社員食堂利用や弁当業者へ委託する企業が多く、周辺に外食や買い物する店舗、コンビニがないといった指摘も聞かれた。

- ・飲み会（懇親会、接待等含む）が行われる場合は、市外（名古屋市、小牧市、江南市等）の店舗を利用する企業が多いが、犬山駅周辺の店舗を利用する企業もみられる。

### ●市内操業継続のための企業ニーズ（問題点等）について

- ・敷地上の問題/課題（近隣からのクレーム、敷地拡大の制約等）や人材確保難をあげる企業が多い。

### ●人材採用における問題課題

- ・大卒はマイナビ等を利用し、高卒はハローワークを通じ市内高校や周辺の工業高校から募集する企業が多いが、求人に対して応募が少ない、内定辞退者が多いなど予定通りに人材を確保できていないという意見があった。
- ・高等専門学校での採用では、卒業した社員のつながりから、募集・採用している企業もあった。
- ・従業員の男女比は、男性（多くが製造関連技術職）が大半を占める企業が圧倒的に多く、女性の職種は営業事務職とする企業が多い。
- ・技能実習生として外国人を採用している企業も一部みられる。

### ●その他

- ・従業員のための生活利便施設（買い物、飲食、娯楽等）の立地を求める指摘が一部企業から聞かれた。